

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 福岡県大牟田市
本事業の担当部局名 保健福祉部子ども未来室子ども育成課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		一般メニュー						
関連事業メニュー		1.1.3 出会いの機会・場の提供に関する取組						
個別事業名		大牟田市おおむた縁結び支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	平成28年度
総事業費(A)(円)		1,688,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)	0		差引額(A-B)(円)	1,688,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		1,688,000						
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	148,000	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	148,000	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	0	40,000	0	0	1,500,000	1,688,000	
	対象経費支出予定額	0	40,000	0	0	1,500,000	1,688,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 本市の合計特殊出生率は直近5年で1.63から1.41に低下し、コロナ禍以降は出生数と婚姻件数がさらに減少。令和6年度実施のアンケート調査では、若者は53.7%が将来的に子が欲しい一方、「結婚相手に出会えるか不安」の悩みが最も多い(42.5%)。また、未就学児がいる世帯は35.8%が次の子を欲しい一方、「上の子がいながら育てるのが不安」の悩みが経済的負担に次いで多い(39.9%)。そのため、出会い・結婚応援をさらに拡充するとともに、まち全体で結婚や子育て、子どもを応援する環境づくりを推進する。 <本個別事業の位置付け> 出会いの場を創出するため、市内の民間事業者や団体との官民連携により、市民にとってより魅力的な婚活イベントを実施する。 あわせて、婚活イベントと連動して結婚や婚活に係るセミナーを実施することで、より多くの参加者を確保するとともに、イベント前の気運の醸成も図る。						

個別事業の内容

番号	項目	内容	
1	婚活イベントの開催	結婚の希望を叶えられるよう、出会いの機会の場を提供するため、市内の民間事業者や団体への補助により、次のとおり婚活イベントを開催する。 年間で5つの民間事業者や団体が婚活イベントを主催し、市は補助金交付と合わせ、後援を行う。イベントの開催にあたって、5つの民間事業者が相互に連携するとともに、市も連携して周知を行い、参加を促す。また、イベント参加者に対して、民同士の繋がりにより、結婚相談員による個別相談の案内なども行う。 ○婚活イベントへの補助(年5回) ・イベント参加予定者数(定員):20から40人程度(男女各10から20人×5回) ・イベント内容:実施主体の創意工夫により、料理教室やゲーム、スイーツを楽しみながら、男女での会話等を通して仲を深める婚活イベントを実施。 ・イベント対象:おおむね20～40歳位の独身者 ・補助対象者:市内で婚活イベントを開催する民間事業者や団体等 ・補助対象経費:イベント開催に要する経費(司会への報酬、広告料、消耗品費 等) ※参加者の飲食代等は対象外 ・補助額:上限300,000円(補助率4/5)×5団体 ○周知・広報について ・実施主体が作成するチラシ配布やポスター掲示、実施主体のSNS等、市広報紙、市ホームページ・SNS(ライン)など ○補助事業を実施する事情 ・本市は、三井三池炭鉱とともに発展してきた鉱工業都市であり、昭和30年代半ばに始まったエネルギー革命等により石炭産業は縮小し、平成9年には三池炭鉱が閉山。これに伴い、地域経済は大きな影響を受け、人口減少や高齢化が続いており、昭和30年代に20万人以上だった人口は約10.5万人となっている。あわせて、少子高齢化が国より20年先行しており、財政は厳しい状況。 ・そのため、限られた行政資源(予算・人員)の中、補助による事業とすることで、民間資金も事業実施に係る財源として活用。また、民間による創意工夫も得ながら、少子化対策に直結する結婚支援の取組を官民連携で実施している。 ・2019(R元)年度には、市内の民間団体からの働きかけにより、官民が参画する「loveおおむた」プロジェクトを立ち上げ、さらに官民連携を強化。 ・行政主体の取組だけでなく、民間主体の取組における行政との連携を継続していくことで、結婚に温かい社会づくり・気運醸成としても、より高い効果を期待できると考える。	
	2	結婚や婚活に係るセミナーの実施	官民連携で実施する婚活イベントと連動して、主にイベントの参加者などを対象に結婚や婚活、異性とのコミュニケーション等について学ぶことができるセミナーを実施する。 セミナーの講師については、福岡県との連携により、派遣してもらう。婚活イベントの実施主体と連携し、周知や参加促進に取り組む。また、婚活イベントと連動することで、セミナーの参加者のより多くの確保や、イベント前の気運醸成を図る。 ・参加予定者数(定員):30人程度×2回 ・対象:おおむね20～40位の独身者等 ・内容:講師による講演。結婚まで必要となる行動や考え方、婚活で活かすことができる身だしなみやコミュニケーション等について講話してもらう。
	3		

<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)>

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率の上昇			1.41以上 (R10年)	1.41 (R4年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.41 (R4年)	
	婚姻件数		件	327 (R4年)	
	婚姻率			3.1 (R4年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	婚活イベント及びセミナーの参加者数	人	210 (R7年度)	170 (R5年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	80 (R7年度)	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④				
	⑤				
	⑥				
	⑦				
⑧					